

教育 かしま

第57号

回覧

発行日
令和6年3月1日
発行
鹿嶋市教育委員会
連絡先
鹿嶋市教育委員会
TEL0299-82-2911 (内線523)



(電子版はこちらから)
総務就学課

地域の特色ある教育活動を応援し、開かれた教育環境を推進するための情報を掲載していきます。

鹿嶋市立小・中学校は

鹿行地区初！

4月から2学期制になります

10月の連休を前期と後期の区切りとします。県内では44市町村のうち、23市町村が2学期制です。

【変わります！】

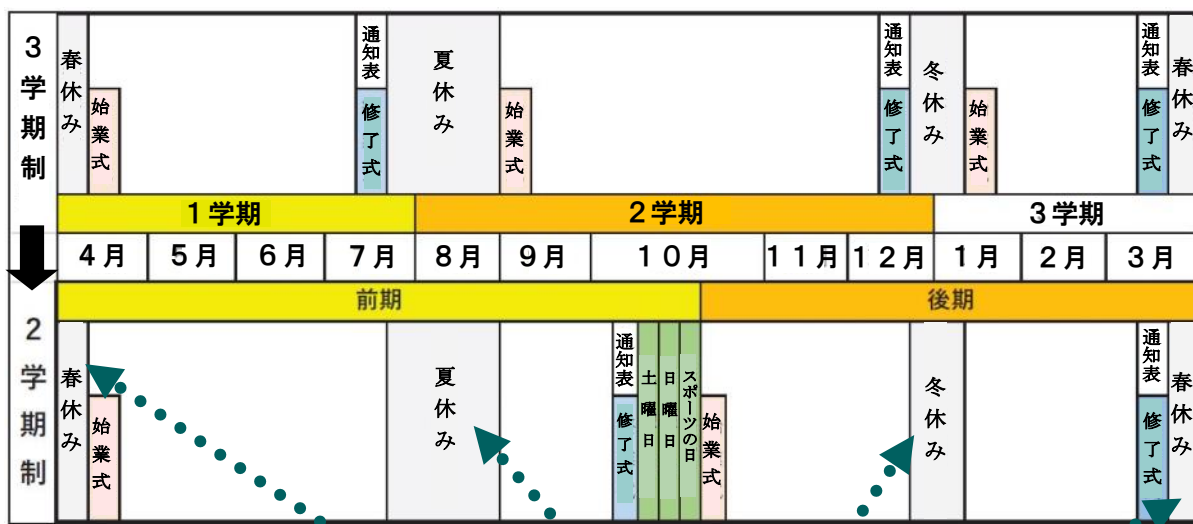
- ・授業時間が約20時間増えます。
- ・始業式、終業式等、そして通知表が年2回になります。
※個別面談や授業参観などで学習の様子を知っていただく機会を確保します。

【変わりません！】

- ・登校日数は同じです。
- ・夏休み、冬休み、春休みの期間も同じです。
※調査票など、進学に関することにも影響はありません。



1年を比べてみました



登校日数は変わりません

長期休業（夏季・冬季等）の期間は変わりません

【お知らせ】次号の教育かしま第58号からは電子媒体に切り替わります。

下記のURLから閲覧できます。今後は、鹿嶋市のX（旧Twitter）やLINE、かなメール等でお知らせしていきます。

[URL] <https://city.kashima.ibaraki.jp/site/kyoiku/3448.html>



小・中学生による鹿嶋市への提案！！

波野小 「まちづくり提案会」

テーマは「とびだせ！波野たんけんたい★～かしま市をよりよいまちにするためには～」

2月16日（金）に波野小学校で、「地域のことに関わる探究的な学習」の一環として、3年生が市の職員に「まちづくり提案会」を行いました。

子どもたちはごみ問題や空き家問題、市の活性化事業などのテーマごとにグループに分かれ、インターネットや図書館で資料を探したり、アンケートなどで情報を収集し、提案をまとめました。

ごみ問題に取り組むグループでは、リサイクルの重要性や分別方法について調査し、地域住民への啓発活動やリサイクルボックスの設置を提案しました。

また、空き家問題に焦点を当てたグループは、空き家をドッグランやカフェなどにする再生プロジェクトなどを提案しました。

そのほか、アントラーズと連携した事業の企画などの発表が披露され、いずれも鹿嶋市の未来を見据えた素晴らしい提案でした。

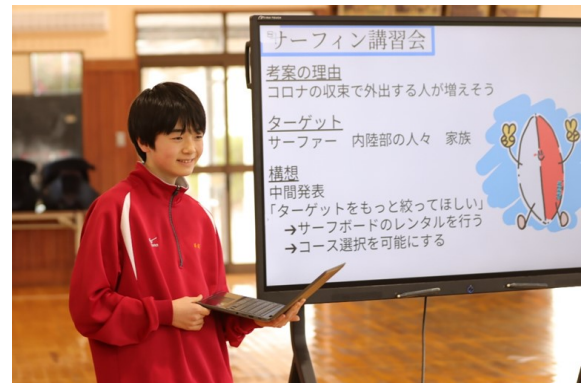


鹿島中「ふるさと納税返礼品」考案授業 最終報告会

2月15日（木）に鹿島中学校1学年の生徒が、1年間にわたり調査、研究、考案した「ふるさと納税返礼品」の最終報告会を行いました。

生徒たちは、10月に行った中間発表会で市内のふるさと納税返礼品関係事業者からいただいたアドバイスをもとに、アイデアをさらに磨き上げ、最終報告会では、考案した返礼品のオリジナリティや魅力を田口市長、川村教育長をはじめ、市内の返礼品関係事業者などにプレゼンしました。

今後は、生徒たちが考えた返礼品を1つの冊子にまとめ、市内の返礼品関係事業者へ配付する予定です。



考案したふるさと納税返礼品一覧

| テーマ | 内容 |
|---------|---------------------------|
| アントラーズ | サイン入りサッカーボール・スタジアムグルメセット等 |
| 体験 | 祭頭祭の体験・サーフィン講習会等 |
| サツマイモ | サツマイモ食べ比べセット・サツマイモ味の大判焼き等 |
| その他の食べ物 | はまなすの練り切り・海鮮パエリア等 |



「English Urban Camp」で

オールイングリッシュ体験！

12月27日（水）に、東京都江東区にある体験型英語学習施設「TOKYO GLOBAL GATEWAY」で、市内の小学5・6年生30名を対象とした「English Urban Camp」を実施しました。

この事業は、英語でコミュニケーションをとる楽しさや達成感を味わい、「もっと英語が話せるようになりたい」という学習意欲を高めることを目的としたものです。



館内にはトラベルゾーンとエアポートゾーンがあり、エアポートゾーンでは、飛行機の機

内をイメージした施設を使って、施設のパートナーであるANAの現役CAと英語で会話をしました。

施設内の標記はすべて英語で表示され、外国人スタッフも数多く、コミュニケーションはすべて英語で、あたかも外国に行ったような環境の中での事業でした。

参加した子どもたちは、「本当に海外にいるみたいだった！」「もっと英語の勉強を頑張りたい」と目を輝かせていました。



◀活動の様子はホームページで紹介しています。

いばらきっ子郷土検定 鹿野中が県大会で第3位！

2月3日（土）にザ・ヒロサワ・シティ会館（水戸市）で、いばらきっ子郷土検定県大会が開催されました。

県独自の郷土教育の一環として茨城県教育委員会が主催し、楽しみながら茨城県の「歴史」「文化・人物」「生活・自然」「商工業・観光物産」等を学ぶことができるよう、中学2年生を対象に実施しています。

11回目となる今大会には、県内から45校の代表校が集まり、鹿嶋市の代表として10年ぶり

2回目の出場を果たした鹿野中学校は、見事3位という成績を収めました。



▲『鹿島志』の挿絵図に描かれた江戸時代の祭頭祭

鹿島の豊竹トホヨホトヤ（豊穂良豊穂）……その囃言葉からも分かるように、祭頭祭は五穀豊穡や天下泰平を願うお祭りです。鹿島神宮を中心に南北合わせて五〇余りの地区から二地区が毎年卜定（ぼくてい）により祭りの当番に選ばれ、祭頭囃を奉納します。

祭頭祭の起源は、奈良時代とも平安時代とも諸説ありますが、文献として遡ることができるのは鎌倉時代初期の建仁四年（一二〇四年）で、この時は片野地区（現在の厨）の長保寺と平井地区の宝持院が祭りの頭人を務めています。

もともとは男性によるお祭りですが、江戸時代後期の絵図を見ると、男衆が「かし棒」を手にも勇ましく囃したてている様子が見えます。昭和四〇年代頃までは男性のみが参加していましたが、時代の移り変わりと共に、今では女性や小さな子どもたちも囃子人として参加しています。

令和六年の祭頭祭は三月九日（土）に行われ、左方大頭「下幡木郷」が祭頭囃を奉納する予定です。

鹿嶋の文化財 第九回
鹿嶋の祭頭祭



▲「鹿嶋デジタル博物館」で祭頭囃の動画を公開中！

古来から続く口伝や文書を未来へ

「鹿嶋山車下座文化誌」が寄贈されました



▲「鹿嶋山車下座文化誌」が寄贈されました

鹿嶋神宮氏子青年かなめ会の20周年記念事業において、「山車」とお囃子の演奏者団体「下座連」にまつわる歴史をまとめた「鹿嶋山車下座文化誌」が作成され、1月22日（月）に市へ寄贈されました。

江戸時代から続く山車と下座連に関する口伝や古文書、写真を集約した同誌は、これまで詳細な資料が不足していたなか貴重な記録として書籍化したものです。

同誌は市内の図書館のほか、中学校や公民館などに配布されました。地域の皆さんや生徒たちが手にすることで、地元の伝統文化に触れる機会が増え、地域の誇りや文化への理解が深まり、地域コミュニティが一層深まることが期待されます。

文部科学大臣表彰を受賞されました

文部科学省では、学校安全の普及と向上に尽力し、多大な成果をあげた団体や社会教育・家庭教育の振興・推進において、特に効果を上げて他の模範と認められる取組等に対して文部科学大臣表彰を行っています。

この度、鹿嶋市から2つの団体が受賞されましたので、ご紹介します。

「ひらあい会」が学校安全ボランティア活動奨励賞を受賞

平井地区社会福祉協議会「ひらあい会」が文部科学大臣表彰を受賞され、12月27日（水）に鹿嶋市役所で学校安全ボランティア活動奨励賞の賞状伝達式が行われました。

学校安全ボランティア活動奨励賞は、子どもたちの通学時の保護や誘導、校内パトロールなどを通じて、子どもたちの安全・安心な学校教育活動に貢献する優れた活動を行っている個人・団体に贈られる賞です。

受賞した「ひらあい会」は、平成18年から通学路における交通安全指導や児童の見守りを行っており、児童生徒の交通安全意識の向上や安全な通学環境の確保に長年尽力し、地域社会全体の安全意識向上に貢献してきました。

その取り組みが高い評価を受け、受賞となりました。



▲左から川村教育長、ひらあい会会長・落合さん、同会・柏原さん

鹿嶋市家庭教育支援チームが「令和5年度『家庭教育支援チーム』の活動の推進に係る文部科学大臣表彰」を受賞

本市では、家庭教育力向上事業の一環として平成29年5月より鹿嶋市家庭教育支援チームによる家庭訪問活動を開始し、市内全域を活動範囲として小学生の子どもをもつ保護者や家庭へのサポートをしています。

コロナ禍による中断期間があったものの、家庭支援を6年以上続け、小学校1年生の子どもをもつすべての家庭と再訪問を希望する家庭を対象に、支援員2人1組で困り感を抱える保護者の身近な話し相手になれるよう傾聴に努め、届ける家庭教育支援（アウトリーチ）に取り組んでいます。支援が必要な家庭には、その状況を踏まえながら学校や行政など、関係機関につなぎ、重大事案に発展しないよう未然防止に努めています。これらの活動の実績が評価され、受賞となりました。



▲表彰式は文部科学省東館で行われました。